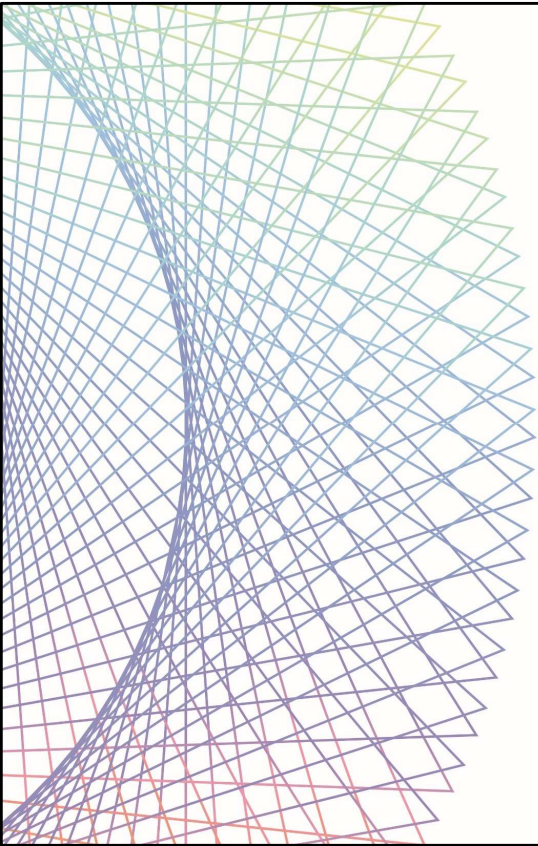




CITIZEN

2024年度（2025年3月期）
第1四半期決算説明会

シチズン時計株式会社

2024年8月13日

2024年度（2025年3月期）第1四半期

連結業績概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4
セグメント別業績概要・・・・・・・・・・	5
時計事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
工作機械事業・・・・・・・・・・・・・・・・	11
デバイス事業・・・・・・・・・・・・・・・・	13

広報IR担当の古川でございます。

2024年度第1四半期の業績の概要を説明させていただきます。

2024年度第1四半期（4－6月期）業績概要

第1四半期（4-6月）増収減益

(単位：億円)	2023年度	2024年度	前年同期比	
	1Q(4-6月)実績	1Q(4-6月)実績	増減額	増減率
売上高	726	758	+31	+4.4%
営業利益	55	46	▲8	▲15.4%
営業利益率	7.6%	6.2%	-	-
経常利益	80	73	▲6	▲8.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	62	85	+22	+36.0%
為替レート	¥135/USD ¥147/EUR	¥155/USD ¥167/EUR		

※ 投資有価証券売却益 約48億円を計上

4

PLの概要になっております。

売上高は、時計事業が堅調に推移したほか為替の後押しもあり、758億円、前年比4.4%の増収となりました。

一方、営業利益は、時計事業の宣伝費の増加や工作機械事業の減収等により、46億円と前年比15.4%の減益となりました。

経常利益は73億円と前年比8.2%の減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上等により、85億円と前年比36%の増益となりました。

2024年度第1四半期（4-6月）セグメント別業績概要

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2023年度	2024年度	前年同期比		セグメント	業績
	1Q(4-6月)実績	1Q(4-6月)実績	増減額	増減率		
時計事業	370	411	+40	+10.9%	■ 時計事業	【増収減益】
工作機械事業	195	179	▲16	▲8.2%	■ 工作機械事業	【減収減益】
デバイス事業	108	105	▲3	▲3.6%	■ デバイス事業	【減収増益】
電子機器他事業	52	63	+11	+21.8%	■ 電子機器他事業	【増収増益】
合計	726	758	+31	+4.4%		
営業利益						
時計事業	45 (12.2%)	36 (8.9%)	▲8	▲19.7%		
工作機械事業	23 (12.0%)	13 (7.3%)	▲10	▲43.9%		
デバイス事業	0 (0.4%)	4 (4.0%)	+3	+770.1%		
電子機器他事業	1 (2.9%)	8 (13.6%)	+7	+476.1%		
消去又は全社	▲15	▲15	+0	-		
合計	55 (7.6%)	46 (6.2%)	▲8	▲15.4%		

5

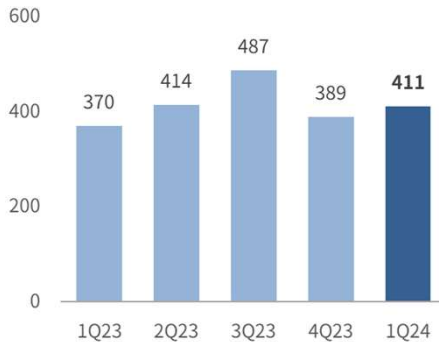
事業のセグメント別の業績の内訳となっておりますが、時計事業は増収減益、工作機械事業は減収減益、デバイス事業は減収増益、電子機器他事業は増収増益となっております。

このあと、主要事業の概況をご説明いたしますが、電子機器事業について触れておきますと、主にフォトプリンターの売上が想定を上回り、計画比上振れ基調で推移をいたしました。

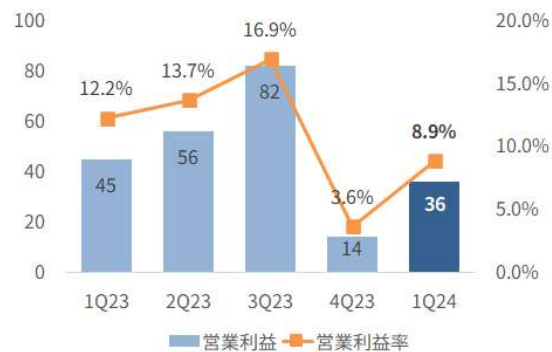
第1四半期（4-6月） 増収減益

- 完成品 国内市場は主要ブランドの販売が好調に推移したほかインバウンド需要も伸長し、増収
海外市場はアジアが中国の市況悪化などにより販売が低迷するも欧米が堅調さを保ち、増収
- ムーブメント 機械式ムーブメントを中心とした付加価値製品が堅調に推移し、増収

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



6

それでは、時計事業です。

売上高は411億円、10.9%の増収、営業利益は36億円、19.7%の減益となりました。

完成品販売につきましては、国内市場が『ATTESA』など主力商品の販売が好調に推移した他、インバウンド需要も伸長したことにより増収となりました。海外市場は、アジアが中国の市況悪化などにより販売が低迷いたしましたが、欧州が好調を維持し、増収となりました。

ムーブメント販売につきましては、引き続き、機械式ムーブメントの需要が旺盛であったことに加え、アナログクォーツも高機能商品の販売が堅調に推移したことから、増収となりました。

売上高は、為替の影響を除いても、計画線となりましたが、営業利益の前年比較では、「CITIZEN」ブランド時計100周年に伴う宣伝費の増加や、ムーブメントの在庫調整等の影響により、減益となりました。

前年同期比増減率（現地通貨ベース）



地域別販売状況

地域	前年同期比	詳細
国内	【増収】	『ATTESA』や『xC』などの中核ブランドに加えて『The CITIZEN』などのプレミアムブランドが好調 インバウンド需要が伸長
アジア (中国含む)	【減収】	中国は市況悪化に伴い販売が大きく減少 タイなど一部市場に回復傾向
北米	【微減】	宝飾チェーン・百貨店が堅調さを維持 トラベル流通で仕入れ調整
欧州	【増収】	イギリスやイタリア等が堅調に推移

7

こちらは、現地通貨ベースの地域別売上高の伸び率です。

赤色の国内は、『ATTESA』、『xC』、『The CITIZEN』などの販売が好調に推移したほか、中国からのツーリストの増加もあり、インバウンドの需要が伸長し増収となりました。

緑色のアジアは、タイなどの一部市場で回復傾向が伺えたものの、中国の市況悪化に伴い大きく販売が減少し、減収となりました。

青色の北米は、宝飾チェーンや百貨店など主力の流通での販売は堅調さを保ちましたが、トラベル流通における仕入調整の影響があり、前年比で微減となりました。

紫色の欧州は、イギリスやイタリア等が堅調に推移したことで増収となっております。

『The CITIZEN』 「CITIZEN」ブランド時計 100 周年記念 限定モデル

- 年差±5 秒の高精度エコ・ドライブムーブメントを搭載、ケースとバンドには軽量で耐傷性に優れたスーパーチタニウムTMを採用
- 藍で「筒巻き絞り染め」を施した和紙文字板が独創的なモデル

The
CITIZEN




発売日 : 2024年5月28日
価 格 : 希望小売価格 462,000 円(税込)
限定数量 : 世界限定600本

8

新製品のトピックスです。

今年は、「CITIZEN」ブランドの時計が誕生してから100年という節目の年になっております。

この周年を記念し、「CITIZEN」ブランドの最上位モデルである『The CITIZEN』から限定モデルを発売いたしました。

年差±5秒の高精度光発電エコ・ドライブムーブメントを搭載し、新たな表現として、主に布の染色に使われてきた「筒巻き絞り染め」技法を取り入れた藍染和紙文字板を使用した独創的なモデルになっております。

5月28日に発売し、出荷ベースでは国内分の数量は完売となっております。

『PROMASTER』ブランド誕生35周年記念の限定モデル

■ 陸・海・空から限定モデルが順次登場

- ✓ 第1弾：「チャレンジダイバー」のデザインを継承するメカニカル ダイバー200m
- ✓ 第2弾：「ミッドナイトサン」を表現したエコ・ドライブ電波時計
- ✓ 第3弾：新開発のキャリバーを搭載したエコ・ドライブ コンビネーションウォッチ



メカニカル ダイバー200m
発売日 : 2024年6月6日
価 格 : 希望小売価格 143,000 円(税込)
限定数量 : 世界限定4,500本



エコ・ドライブ電波時計
発売日 : 2024年8月9日
価 格 : 希望小売価格 121,000 円(税込)
限定数量 : 世界限定5,600本



エコ・ドライブ コンビネーションウォッチ
発売日 : 2024年10月10日
価 格 : 希望小売価格 154,000 円(税込)
限定数量 : 世界限定5,900本

次に、グローバルブランドとして強化を進めております『PROMASTER』です。

『PROMASTER』につきましてもブランド誕生35周年ということで、それを記念いたしまして、陸・海・空のそれぞれのカテゴリーから限定モデルを発売いたします。

第1弾は「フジツボダイバー」の愛称を持つ、「チャレンジダイバー」のデザインを継承するメカニカルダイバー200m

第2弾は「ミッドナイトサン」をデザインテーマとしたエコ・ドライブ電波時計

第3弾は、新開発のキャリバーを搭載した、アナログとデジタルのエコ・ドライブコンビネーションウォッチです。

こちらのモデルを順次発売してまいります。

国内中価格帯市場における中核ブランド

- 『ATTESA』 強く軽く、洗練されたデザインが特徴。好調に推移する国内の売上に大きく貢献。
- 『xC』 10年連続レディース腕時計国内売上No.1、当社の国内主力ブランドとして成長を続ける。

ATTESA

シーンを問わない機能とデザイン、
だから一番選ばれる。

アテッサは、2023年国内中価格帯市場において、
売上No.1※の男性用チタニウム製腕時計ブランドです。

※5万円～30万円の男性用チタニウム製腕時計ブランドにおいて（スマートウォッチは除く）。
2023年における日本国内小売店（実店舗、オンライン含む）での販売数量ベース。
2024年4～5月 ユーロモニター・インターナショナル調べ。

xC



一番売れている。選ばれている。

1996年の発売以来、クロスシーは“本当にいいもの”を
求める女性たちに選ばれ続けてきました。
今年で10年連続レディース腕時計国内売上No.1※を獲得。
品質、美しさ、そして実力。
これからも私たちはその価値を、どこまでも磨き続けます。

※3～10万円の女性用腕時計ブランドにおいて（スマートウォッチは除く）。
2023年における日本国内小売店（実店舗、オンライン含む）での販売数量ベース。
2024年4～5月 ユーロモニター・インターナショナル調べ。

10

最後に、売上を牽引しています、国内の主力2ブランドについて、説明をさせていただきます。

まず『ATTESA』ですが、シチズンの技術を象徴するチタニウムウォッチである『ATTESA』は、強く軽く、洗練されたデザインが特徴で、前年に引き続き、国内の売上拡大に大きく貢献しております。

また、すべての女性を応援するエンパワーブランドをめざす『xC』は、幅広い年代の方にご愛用いただいております、女性用時計の主力ブランドとして成長を続けております。

外部機関の調査では、中価格帯における販売数量ベースとなりますが、
『ATTESA』は、男性用チタニウム腕時計の売上No.1、『xC』は10年連続で
レディース腕時計の売上No.1を記録しています。

男性用時計と比較して、需要の回復が遅れていた女性用時計も回復の兆しが見え
つつあると期待しております。

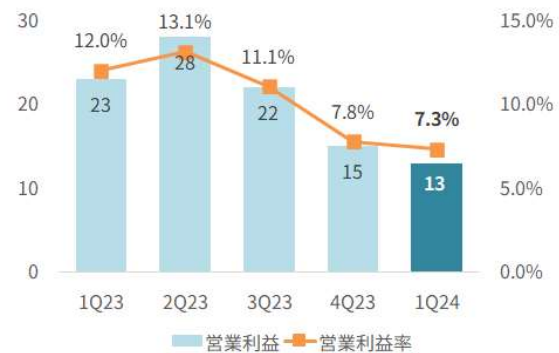
第1四半期（4-6月） 減収減益

- 国内市場 設備投資への慎重姿勢が継続する中、主に自動車関連の需要が回復せず、減収
- 海外市場 米州及び欧州は医療関連以外の設備投資意欲が限定的となったほか、アジアは中国で販売が増加したものの、その他アジアの市況が回復せず、減収

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



11

次に工作機械事業です。

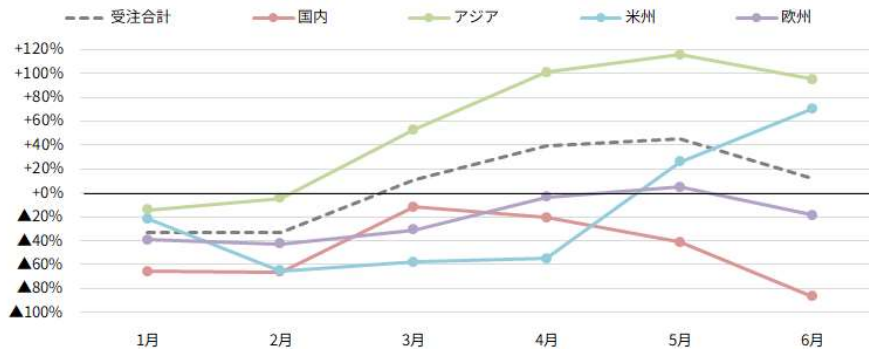
売上高は179億円、8.2%の減収、営業利益は13億円、43.9%の減益となりました。

国内は、設備投資への慎重姿勢が継続する中、主に自動車関連の需要が回復せず、減収となりました。

海外につきましては、欧米では、好調な医療関連以外の設備投資の様子見姿勢が継続しております。アジアにおいても、中国で販売が増加したものの、その他アジアでは市況回復がみられず、減収となりました。

前年比較におきましては、国内向け販売が減少し、中国向け販売が増加し、売上高の地域構成が変化したことにより製品ミックスが悪化したことも減益の一つの要因となっております。

3カ月移動平均受注台数 前年同月比増減率の推移



地域別の第1四半期の受注台数の状況（前年同期比）

● 受注合計	+12%
● 国内	▲87% 市況低迷による引合い減少に加え、3月の値上げ前の駆け込み受注の反動もあり大幅減
● アジア	+95% 堅調なインドに加え、中国では政府による補助金効果もあり受注が促進され大幅伸長
● 米州	+71% 医療関連を中心に受注が増加
● 欧州	▲18% 全体で市況の低迷が続き、設備投資意欲は限定的

12

こちらは、地域別の受注状況です。

折れ線グラフは、受注台数の3カ月移動平均の前年同月比の増減率です。3月の値上げ前の駆け込み需要以降、各地域で濃淡はあるものの全体では緩やかな回復基調を辿っていると認識しております。全体として前四半期に引き続きまして、受注が販売を上回る状況が続きました。

下の表は第1四半期の前年同期比の受注の状況です。受注台数の合計は前年比12%増となりました。地域別にみますと、

国内は、3月の値上げ前駆け込み需要の反動を大きく受け、また自動車関連投資への慎重姿勢が継続し、前年比87%の大幅減となりました。

アジアは、インドで引き合いが活発であった他、中国では補助金効果があり受注が大幅に増加し、前年比95%増となりました。

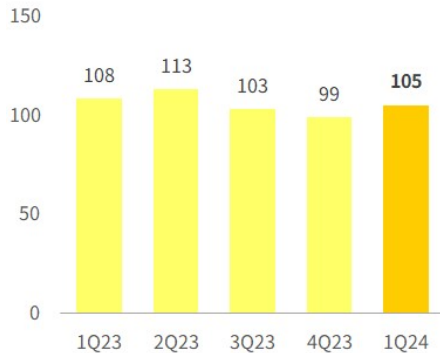
米国は、大統領選前のため様子見姿勢が見られましたが、医療関連を中心に受注が増加し、前年比71%増となりました。

欧州は、医療やデンタル向けなどは堅調であるものの、自動車関連の投資が回復せず、前年比18%減となりました。

第1四半期（4-6月） 減収増益

- 自動車部品 国内の市場動向の影響を受けるも海外市場を中心に底堅く推移し、増収
- 小型モーター 医療関連を中心に堅調に推移し、売上高は前年並みの水準を維持
- 他デバイス 水晶デバイスとオプトデバイスは需要低迷により減収

売上高 (億円)



営業利益 (百万円) ・ 営業利益率



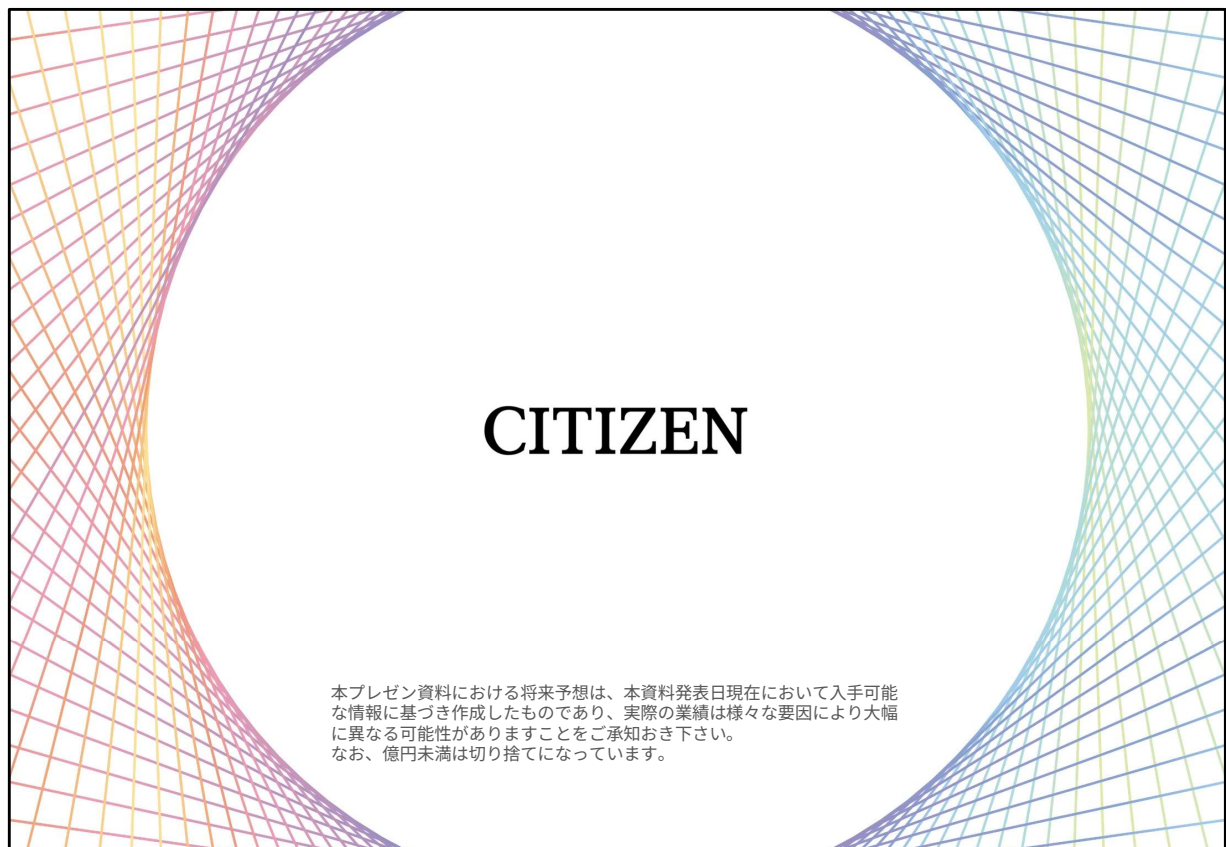
13

最後に、デバイス事業です。

売上高は105億円、3.6%の減収、営業利益は4億円と増益になりました。

自動車部品は、海外市場を中心に底堅く推移し、増収となり、小型モーターは、医療関連を中心に堅調さを保ち、前年並みの売上を維持いたしました。

その他のデバイス製品は、全体では減収となっておりますが、概ね底堅く推移した結果、為替の影響もあり、増益となっております。



説明は以上となりますが、連結業績予想につきましては変更せず、前回の5月に発表した予想を据え置いていることを申し添えておきます。

以上でございます。ありがとうございました。

2024年度 通期連結業績予想及び配当金予想

2024年度通期業績予想

(単位：億円)	2023年度 実績		2024年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	1,529	3,128	1,510	3,100	▲ 19	▲ 28	▲1.3%	▲0.9%
営業利益	135	250	110	230	▲ 25	▲ 20	▲18.8%	▲8.2%
営業利益率	8.9%	8.0%	7.3%	7.4%	-	-	-	-
経常利益	174	308	122	255	▲ 52	▲ 53	▲30.0%	▲17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	133	229	125	220	▲ 8	▲ 9	▲6.6%	▲4.2%
為替レート	¥139/USD ¥152/EUR	¥144/USD ¥156/EUR	¥145/USD ¥155/EUR	¥145/USD ¥155/EUR				

為替影響額 (1円円安の年間影響額)

	USD	EUR
売上高	+6.5億円	+3億円
営業利益	+2億円	+1.5億円

2024年度配当金予想

- 年間配当金予想 45円（中間 22円50銭 / 期末 22円50銭）、前期比5円増配

2024年度 通期連結業績予想 セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

	2023年度 実績		2024年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高								
時計事業	785	1,662	820	1,715	+34	+52	+4.4%	+3.2%
工作機械事業	414	816	360	730	▲54	▲86	▲13.1%	▲10.6%
デバイス事業	221	424	213	425	▲8	+0	▲4.0%	+0.0%
電子機器他事業	107	225	117	230	+9	+4	+8.5%	+2.2%
合計	1,529	3,128	1,510	3,100	▲19	▲28	▲1.3%	▲0.9%
営業利益								
時計事業	102 (13.0%)	198 (11.9%)	102 (12.4%)	205 (12.0%)	+0	+6	▲0.0%	+3.3%
工作機械事業	52 (12.6%)	90 (11.1%)	28 (7.8%)	66 (9.0%)	▲24	▲24	▲46.4%	▲26.9%
デバイス事業	4 (1.8%)	4 (1.1%)	4 (1.9%)	8 (1.9%)	+0	+3	+0.0%	+72.8%
電子機器他事業	6 (6.3%)	15 (7.1%)	8 (6.8%)	15 (6.5%)	+1	+0	+18.5%	▲5.5%
消去又は全社	▲29	▲58	▲32	▲64	▲2	▲5	-	-
合計	135 (8.9%)	250 (8.0%)	110 (7.3%)	230 (7.4%)	▲25	▲20	▲18.8%	▲8.2%

■ 時計事業は好調さを保つも、工作機械事業の需要の波の影響を受け、減収減益